



新春対談

好きを突き詰め

かな 叶えた夢

時には冷静に、時には情熱的に、分かりやすく正確に情報を伝える伝道師。厚木で生まれ育ち、学生時代に描いた夢をかなえた日本テレビアナウンサーの梅澤廉さんを迎え、今までの歩みと未来に込める思いを聞きました。

厚木市長 小林常良

日本テレビアナウンサー 梅澤廉

古民家岸邸
《開館時間》10~3月 10~15時
4~9月 10~17時
《定休日》月・火曜
※祝日の場合は翌日
あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

市長 明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の対策は依然として欠かせませんが、イベントが再開されるなどまさににぎわいが戻りつつあります。今回は、ニュース番組やスポーツ中継などで活躍する、厚木市出身の梅澤廉アナウンサーに話を伺います。

厚木の思い出

市長 対談の舞台として、上荻野にある古民家岸邸を選びました。来たことはありませんか。
梅澤 20歳まで市内に住んでいましたが、初めて来ました。
市長 ここは1891年に建てられた、荻野村で村長を務めていた方のお宅です。
梅澤 当時のまま残っているんですね。厚木の歴史を感じます。
市長 現在は市指定有形文化財になっていて、一般公開しています。梅澤さんにとって厚木はどんなまちですか。
梅澤 いつでも帰って来たいと思うまちです。定期的に来ていますが、景色が少しずつ変わっていきまね。本厚木駅の南口も新しくなっていました。
市長 これから、北口も再開発される予定です。
梅澤 さらに進化して、きれいになるんですね。都市と自然を感じられるのも魅力の一つです。子どもの頃は、家族でよく七沢に行っていました。
市長 厚木の一番の思い出は何ですか。
梅澤 鮎まつりです。父に手を引かれて行ったのをよく覚えていて、昨年11月も会場で見ました。あんなに間近で花火を見られるのは、他ではできない体験だと思います。
市長 昨年は3年ぶりの開催で、皆さんが祭りを待ち望んでいたのを実感しました。

夢で目指したアナウンサー

市長 アナウンサーを目指したきっかけは何ですか。
梅澤 中学2年生の頃に箱根駅伝をテレビで見て、実況アナウンサーの仕事を知ったのがきっかけです。高校受験の面接でその話をしたら「実況してみて」と言われました(笑)。

市長 アナウンサーになるために苦労したことはありませんか。
梅澤 苦労はありませんでした。いま思うと、とにかく「箱根駅伝で実況したい」という一心でした。高校受験に受かったのも、アナウンサーになれたのも箱根駅伝のおかげかなと思います。選手のつらさを知るために実際にコースを歩いたり、顔を覚えられくるくらい箱根駅伝ミュージアムに通ったりしました。そこが自分の原点です。
市長 夢中になれるものを見つけたのが素晴らしいですね。初めて箱根駅伝で実況した時はどうでしたか。
梅澤 感動がたま先からソワソワと込み上げてきて、頭の上まはどばどした感覚がありました。

た。小涌園前で実況しましたが、スタートからラナー到着まで4、5時間、ドキドキしながらテレビを見て待ち、姿が見えた時は、景色がいつもより鮮やかに感じました。
市長 夢がかなった瞬間のことは忘れられないですね。私も長年の苦労を重ねた市立病院や斎場、アミーゴあつぎなどを完成させた時の感動は忘れられません。でも、市民の方から「ありがたう」の声を掛けてもらう喜びに勝るものはありません。



視聴者を一番考えて、番組を進行

伝える仕事

市長 普段はどんな仕事をしていきますか。
梅澤 スポーツ実況もあります。一番大きな仕事は、土曜早朝の情報番組の司会です。3時に出社して、5時半に私の「おはようございます」で番組が始まるので、毎週緊張しています。鮎まつりでは市長も大勢の前であいさつしていましたが、緊張はしませんか。
市長 私は気持ち良かったですよ(笑)。皆さんの熱が直接伝わってきて、ワクワクしました。生放送だとまた違う難しさがありますよね。番組の準備は大変ですか。
梅澤 前日の最終打ち合わせで一週間を振り返り、当日のテーマが決まります。常に世の中の出来事を追っています。
市長 毎日アンテナを張り、前日からさらに勉強が必要になるんですね。
梅澤 あまり得意ではない料理がテーマの時は、塩を「少々」と「二つまみ」の違いが何なのかピンとこなくて。分かりやすく正確に伝えるために「少々」は小豆、「二つまみ」は大豆くらいとか、勉強して表現を考えました。

市長 幅広く調べることも大事な仕事ですね。
梅澤 市長はどんな視点で仕事をしていますか。
市長 一つの問題を解決するだけでなく、市全体を考えた判断をしています。周りのことを考えることが本当の問題解決につながると思います。生放送も、常に周囲に気を配らなければいけませんよ。
梅澤 警報や緊急の速報が出ることもあるので、常に緊張感を持って臨んでいます。感染症が流行し始めた時には友人などに状況を聞き、さまざまな立場の方がどんな状況にあるかを考えながら対策を呼び掛けました。
市長 私もコロナ禍では、自身の声で伝えられるよう、動画で対策を呼び掛けました。命の安全を呼び掛けるという点では、同じ仕事と言えるかもしれません。
梅澤 相手に思いを伝える時に工夫していることはありますか。
市長 原稿を読み上げるのではなく、その場に立った時に自然



《プロフィール》1993年生まれ。2016年に日本テレビ放送網株式会社に入社。「ZIP!」「Going! Sports & News」に携わりながら、17年10月から「ヒルナンデス!」に3年半出演。現在は土曜の5時半から放送の「ズームイン!! サタデー」で総合司会を務める。

ドローン映像を公開
あつぎ鮎まつり
大花火大会
市公式YouTubeで公開しています。普段は見られない視点の映像をお楽しみください。
あつぎ郷土博物館 ☎225-2040

新春お年玉企画
直筆サイン入り色紙をプレゼント
梅澤廉さんの直筆サイン入り色紙を10人にプレゼントします。
ハガキに色紙希望の旨と〒住所、氏名、電話番号を書き、1月20日(必着)までに〒243-8511広報課 ☎225-2040へ。抽選。

梅澤 私は夢中になれることがあって、今があります。努力より、夢中になる方が強いと思います。好きなことを追求して、厚木から夢をつかんでほしいです。
市長 今後の目標はありますか。
梅澤 アナウンサーとしてはずっと箱根駅伝に携わり、最終的には、先頭のつばぜり合いを実況する1号車を担当したいです。それ以外だと、学校を造りたいという夢もあります。
市長 学校ですか。
梅澤 例えば、プロを目指していたスポーツ選手が、けがなどで道を閉ざされた時に次の人生を考えやすくしたい。野球選手を目指しながら弁護士にもなれる、そんな学校があったらいいなと思っています。その時は厚木市で実現したいですね。
市長 教育は、社会の役目ですからね。では、一つ目の夢をかなえた梅澤さんから厚木の子どもたちにメッセージをお願いします。
梅澤 私は夢中になれることがあって、今があります。努力より、夢中になる方が強いと思います。好きなことを追求して、厚木から夢をつかんでほしいです。

と出てきた言葉で伝えることと、相手の名前をしっかりと呼ぶことを意識しています。人と人とのつながりは大切ですからね。
梅澤 生の言葉、とても大切ですよ。1年目、先輩アナウンサーに言われたことがあります。「準備はするが、そのまま読むことは絶対にしてはいけない。自分が作った言葉に、勝手に当てはめていくだけだから。今起きていることを伝えるには、その場で自分が感じたことに限定しなければ、生の言葉ではない」。この言葉は強く胸に残っています。
市長 本場にその通りですね。人の心を打つには目の前の相手や出来事に向き合うことが大切だと、私も実感しています。

市長 幅広い調べることも大事な仕事ですね。
梅澤 市長はどんな視点で仕事をしていますか。
市長 一つの問題を解決するだけでなく、市全体を考えた判断をしています。周りのことを考えることが本当の問題解決につながると思います。生放送も、常に周囲に気を配らなければいけませんよ。
梅澤 警報や緊急の速報が出ることもあるので、常に緊張感を持って臨んでいます。感染症が流行し始めた時には友人などに状況を聞き、さまざまな立場の方がどんな状況にあるかを考えながら対策を呼び掛けました。
市長 私もコロナ禍では、自身の声で伝えられるよう、動画で対策を呼び掛けました。命の安全を呼び掛けるという点では、同じ仕事と言えるかもしれません。
梅澤 相手に思いを伝える時に工夫していることはありますか。
市長 原稿を読み上げるのではなく、その場に立った時に自然

